

情報工学部 平成30年度推薦入試Ⅰ出題範囲

面接試験において、数学、英語及びインターネット出願登録時に選択した理科（物理、化学、生物の領域から1つを選択）についての口頭試問を行います。各教科の出題範囲等は以下のとおりです。いずれの問題も高等学校の教科書の範囲を超えない基本的なものですが、公式や単語の丸暗記だけでは解答できないこともありますので、基本的な事項を十分に理解しておいてください。

1 数学

以下に指定する範囲の中から質問します。

- 数学Ⅰ「数と式」、「図形と計量」、「二次関数」
- 数学Ⅱ「いろいろな式」、「図形と方程式」、「指数関数・対数関数」、「三角関数」、「微分・積分の考え」
- 数学Ⅲ「極限」、「微分法」
- 数学A「場合の数と確率」、「整数の性質」、「図形の性質」
- 数学B「数列」、「ベクトル」

※ 高等学校若しくは中等教育学校の職業教育を主とする学科及び総合学科の出身者に対する出題範囲は、上記の「数学Ⅰ」、「数学A」の出題範囲とします。ただし、数学に関して以下の科目を選択した場合、それぞれ以下に指定する範囲の中から出題します。なお、「情報技術基礎」（工業）、「プログラミング」（商業）又は「アルゴリズムとプログラム」（情報）を選択できる者は、インターネット出願登録時にその科目を選択した者に限ります。

- 1) 情報技術基礎（工業） 「プログラミングの基礎」
- 2) プログラミング（商業） 「プログラミングの基礎」、「プログラミングの応用」
- 3) アルゴリズムとプログラム（情報） 「アルゴリズムの基礎」、「プログラミングの基礎」、「データの型と構造」

2 物理

以下に指定する範囲の中から質問します。

- 物理基礎「物体の運動とエネルギー」、「電気」、「電気エネルギーとその利用」
- 物理「様々な運動」、「電気と磁気」

3 化学

以下に指定する範囲の中から質問します。

- 化学基礎「物質の構成」、「物質の変化」
- 化学「化学反応と化学平衡」、「化学反応とエネルギー」

4 生物

以下に指定する範囲の中から質問します。

- 生物基礎「生物の特徴」、「遺伝子とその働き」、「生物の体内環境の維持」
- 生物「細胞と分子」、「遺伝情報の発現」、「生殖と発生」、「生物の環境応答」

5 英語

- 英語の外部検定試験のスコアシート等を出願時に提出した者のうち、情報工学部の換算表で推薦Ⅰの満点の基準を満たすものは、面接試験において下記の「英語」の口頭試問を免除します。
- 100語程度の英文に基づき、面接を行います。面接室に入室後、英語問題を黙読してもらい、音読やいくつかの質問に答えてもらう形で、高等学校卒業程度（実用英語検定試験2級相当）の文法力、内容把握力、口頭運用能力を試します。